

		<p>学校報 令和2年 3月19日 No.56 美郷町立美郷中学校</p>
---	--	---

■栄叶学年、公立高校一般選抜、全員合格！！

去る3月13日(金)に、標記選抜の合格発表がありました。新型コロナウイルスの影響により、各高校における掲示発表はなくなり、各校のホームページ発表だけとなりました。なかなか閲覧できず、全てを確認できたのは19時近くになりました。ご家庭でも気を揉まれたことと拝察いたします。

本校は、栄叶学年一人一人の努力と周囲のサポートにより、**受検生102名全員が合格**することができました。「為せば成る」を合い言葉に励み、全員が**試練を突破する**意気込みで臨んだ努力が実を結びました。

合格の内訳は、公立前期30名、公立一般102名、国立高専、私立(県内外)高校等11名です。

さあ、門を開けました。スタートラインに立ちました。夢と希望を叶えるこれからが勝負です。合格おめでとございます。



■春季休業期間の部活動を「中止」します♠

このことについては、本日、**別紙で詳細**を付して配布いたしました。依然として、新型コロナウイルスの感染について予断を許さない状況にあり、どうか、ご理解の上ご協力くださるよう、よろしくお願いいたします。

3月27日(金)の出校日でも、本日同様に部活動のミーティングをもち、家庭における部活動への備えについて指導いたします。

■「信頼」の土台♡精勤賞243名、皆勤賞35名

本年度から、1年間の無遅刻、無欠席の皆勤出席の生徒を「精勤賞」として表彰し、努力を讃えることとしました。

栄叶学年の1年間精勤は73名で、3か年皆勤は35名でした。中には義務教育9年間皆勤の人も相当いるはずですよ。すばらしいことです。

これに続く奏令学年の1年間精勤は84名、煌輝学年の1年間精勤は86名、その内2か年精勤中は56名です。半数以上が1年間頑張りました。

今、社会生活で最も重視されていることの一つが、「求められたときに必ずそこにいる人材」、「求められたことが確実にできる人材」です。人間社会は「信頼」で成り立っています。精勤や皆勤は、その「信頼」の「土台」です。

精勤賞と皆勤賞を認定された皆さんは、そのことを誇りと自信にするとともに、支えてくれ

た家族や友人など周囲の方への感謝の気持ちを忘れないでください。次年度も期待しています。

■修了式断念！新年度に備えることが最も大切

令和元年度 美郷中学校 後期修了式
式 辞

今年度は、日本国の象徴である天皇が交代され、元号が平成から令和に改元された歴史的節目の年でありました。そして、新型コロナウイルス感染拡大が世界的脅威となっている年度末となりました。9年前の東日本大震災の折と同様に、叡智を結集して乗り越えなければなりません。この度は姿の見えないものに対する対応であり、3年生には大変気の毒なことでしたが、出席者の規模を縮小しての卒業証書授与式を行わざるを得ませんでした。本当に申し訳ない気持ちで一杯です。

こうして迎えた今年度最終日です。登校日数は1年生185日、2年生は186日で、いずれも予定より12日少ない1年間となりました。卒業証書授与式同様に、断腸の思いで修了式を行わず、修了証書をお渡しします。各学級担任からの皆さんへの想いを心に刻んでください。

後期始業式で、「失敗を恐れずチャレンジ」し、「適切に自分を表現する」とことと、読書で言葉を蓄え、心も豊かにしていこうと話しました。

「失敗を恐れずチャレンジ」することについては、1、2年生共に「当てはまる」との自己評価が増加しました。1年生は「どちらかと言えば」も増えました。そして、「適切に自分を表現する」とことについても同様に、両学年共に肯定的な回答が増加しています。また、後期の朝の読書は、1、2年生共に、豊かな時間になっていたようでした。それ以外の時間に読書が充実した人が増えていたとしたら幸いです。

皆さんが私や先生方と目標を共有し、意識して取り組んでくれたことに感謝します。

さて、煌輝学年の皆さん、間もなく最高学年です。義務教育修了後の進路目標を明確にして、その達成に向けて取り組む年のスタートラインに立とうとしています。既に、美郷

中学校のリーダーとして、生徒会や部活動などで、学校づくりを牽引する立場を自覚した発言や活動が顕著であり、大変頼もしく見えています。心穏やかに考えて行動し、仲間と共に歩もうとする姿勢が皆さんの持ち味です。皆さんの令和二年度を楽しみにしています。

奏令学年の皆さんは、本校で最も欠席の少ない学年です。これは何にも代えがたい大きな力です。そこには、さまざまな可能性がたぎっています。年度末を迎え、その可能性の芽生えを確かに捉えています。新入生を育てる先輩として、同時に、学校を牽引する3年生を支え、引き継ぐ中堅として、その力を有効に発揮することを期待しています。皆さんが3年生のときには、本校創立10周年の節目となります。その節目に頼れる存在になってください。

授業も部活動もない3月を過ごす皆さんの心と体の状況はどうでしょうか。光陰矢のごとく時間は経過しています。「あの時こうしていれば」「もっとやっていたら」と気が付いたときには取り返しがつきません。

「人生という試合で最も重要なのは、休憩時間の得点である。(ナポレオン)」は、まさに今の過ごし方を教えています。そして、「生きるとは呼吸することではない。行動することだ。(ルソー)」、「天は自ら行動しない者に救いの手をさしのべない。(シェイクスピア)」は、これからの在り方を教えています。

健康、学習、体力、読書など自分の課題を絞って捉えて、この休憩時間にどんな得点が可能か、そして、どう行動するかを考えて実行してください。

煌輝学年、奏令学年の一人一人が、今年度の成果と課題を確認し、令和2年4月6日に、新2、3年生としての準備を確実に整えて集うことを願い、平成元年度の修了の言葉とします。

令和2年3月19日

美郷町立美郷中学校長 千田 寿彦



■もっと英語を学び、もっと他国を知りたい！

タイ交流に関わった皆さんが学んだことを紹介してきましたが、全部を掲載できませんでした。次年度も紹介していきます。

もっと英語を学びたい、もっと他国を知りたいという思いが、圧倒的に多かったようです。

次年度もタイ王国との交流は続きます。訪問したい人、ホームステイで迎えたい人がたくさん出てくることを期待しています。

ขอบคุณค่ะ โค้ปคูนカー : ありがとう♡

1. ○○○ (1年2組)

タイの人との交流ということで、言葉の壁が一番不安でした。タイに行ってみて、英語の必要性や自分の英語力のなさを痛感しました。

実際にタイの英語の授業を受けてみると、レベルが高く、真剣に取り組んでいました。私もこれからの授業では、タイの人たちのように、今まで以上に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

一番不安だった言葉の壁は、今まで習った単語や身振りで伝えることができました。ほんの少しだけでも、自信がつけました。ホームステイを受け入れた際の買い物の際、とても喜んでくれて、タイの女の子も日本の女の子と変わらないんだと親近感を持ちました。これからは、もっと英語力を高めて、他の国の人たちと英語で会話できるように努力していきたいです。



ขอบคุณค่ะ โค้ปคูนカー : ありがとう♡

5. ○○○ (2年3組)

私はタイ交流を通して、自分から進んで動く積極性が大切だということを知りました。英語でもあまりうまく話することができない私にも、タイの方々は積極的に話しかけてくれました。そのおかげで、最初は緊張していたものの、気軽にコミュニケーションをとることができるようになりました。また、異文化の国同士だからこそ互いの国のよさを知り、国際理解を深めることが大切だということも、現地に行ってみると感じました。私はタイに行く前までは、あまり外国についての知識がありませんでした。しかし、実際に自分が外国の方と触れ合い、文化を見て体験し、その国の空気を感じ取ることで、タイはもちろん、他の国の文化も知りたいという思いが、行く前よりも強くなりました。この「もっと他国を知りたい」という思いをきっかけに視野を広げ、国際理解をより深めて行ければと思います。このタイ交流は、自分や周りを見つめ直すいい機会になりました。

